

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事に関して利用者様から嗜好を伺いながら出来るだけ希望に沿えるような努力を管理栄養士と協力しながら行ったり、外食を楽しんで頂くようにしているが、一人ひとりが食に関して満足しているように感じられない事がある。	施設で食べる食事、外食など食全般において満足感が得られるよう一人ひとりの個性や望んでいる事、今まで培ってきた食習慣にも目を向けていき、喜びを実感して頂けるような食の提供を実現していく。	一人ひとりの好き嫌いに目を向けるだけでなく、食器類や個別での外食、食事を気分良く楽しんで頂ける場所、音、臭いなど、事細かな環境を作り出せるようにしていく。利用者様同士の関係性にも配慮し、食を通しての交流も実現出来るようにする。	12ヶ月
2	43	排泄チェック表を利用しながら一人ひとりの排泄リズムを把握していくよう努めているが、排泄が間に合わない利用者様に関して、紙パンツやオムツなど着用を安易に行ってしまう、不快感や羞恥心に配慮出来てない部分が考えられる。	紙パンツなど排泄用品に頼り過ぎない排泄のお手伝いを考えていく。介護者側の都合で物事を考えず、利用者様一人ひとりの思いを第一に考えながらの排泄対応を行い、失敗を減らしていく。	排泄チェック表や水分摂取量などの数字に頼り過ぎず、一人ひとりの仕草やサインなどを細かく観察し、排泄のお手伝いを行っていく。職員間で情報交換を行い、排泄に関しての成功例などを共有し、排泄用品に頼り過ぎない対応を実現する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。